

ドローン座学実践講習会 見るだけじゃない。自分で飛ばす。



ドローン基礎知識から安全な飛ばし方まで、ドローン・建築のDXに興味がある方や仕事に生かしたい方を対象に、わかりやすく学べる講習会を企画しました。講師は二等無人航空機操縦士の免許をもつ広島支部の迫谷さんです。

- DAY01** 10月3日(土)
座学：法令を守るための知識を学ぶ
- DAY02** 10月24日(土)
実践：山あいの空で、遠くまで飛ばす

「操縦しない」、でも知っておきたい！
～ドローン講習会で学んだ、建築士に必要なお話～
呉支部 井原 真琴

最近、建築の現場でもドローンを見かける機会が本当に増えました。足場を組まずに外壁のクラック（ひび割れ）や浮きを確認できたり、屋根の上の状況が一目で分かったり。調査や検査のやり方をガラリと変える、本当に便利なツールだと実感していますが、発注するとなると知らないことが多く、何度も実務の方に質問してばかりでした。

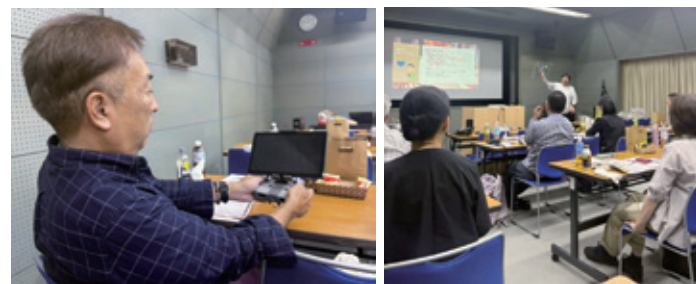
そんな中、10月3日開催の「DAY01：座学」に参加してきました。当日の参加者は14名でした。「自分で操縦して仕事をする予定がすぐにはないけれど、実務で使うなら少しは知識を持っておかないと…」という、軽い動機からのスタートでした。しかし、受講を終えた今、強く感じているのは「自分で飛ばさない建築士でも、最新の法律を知っておかないとマズイ！」ということです。

講習の中で特に驚いたのが、ドローンを取り巻くルールの変化の早さと厳しさです。たとえば、2026年7月14日に改正された法律では、国会議事堂や国の重要施設などの周りでドローンを飛ばしてはいけないエリア（いわゆるイエ

ローゾーン）の範囲が、これまでの300mから「1,000m」へ一気に拡大されました。300mなら「あの建物の近くね」と想像が付きませんが、1,000mとなるとかなりの広範囲です。知らないうちに「実は規制エリアに入っていた」といううっかりミスが、とても起こりやすい状況になっています。さらに、こうしたルールに違反してしまった場合、罰せられるのは「実際にドローンを操縦していた人」だけではありません。航空法には、違反を起こした従業者だけでなく、その会社（雇用者）も一緒に罰せられるルール（両罰規定）があります。また、私たちが外部の業者さんに撮影を外注する場合でも、「少しくらいなら大丈夫だから、あそこを撮ってよ」などと違法な飛行を指示したり、見過ごしたりしていれば、発注者である自分たちもペナルティを受ける可能性があるそうです。

現場をスムーズに進めるため、そして何より大切なお施主様や自分たちの社会的信用を守るためにも、「本当に安全なエリアで、正しい手続きを踏んで飛ばしているか」を見極める目が、私たちにも求められています。

ドローンは、これからの建築実務を支えてくれる心強い相棒です。だからこそ、「知らなかった」でトラブルにならないよう、正しい知識とコンプライアンスの意識だけは、常にアップデートしていきたいと身が引き締まる有意義な講習会でした。



DAY02: 実践 山あいの空まで、遠くに飛ばす

10月24日の実践講習は雨天のため中止となりました。前回の実践講習会の風景です。県北の豊かな自然の中で実際にドローンを飛ばしました。



ドローンで撮影しました

MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.213 令和8年11月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL(082)244-6830(代) FAX(082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 佐名田 敬荘
編集人 広報委員長 梶川 彰彦

MONTHLY 建築士
No.213

HIROSHIMA



表紙写真について

福山実践倫理会館

- 所在地／広島県福山市沖野上町
- 敷地面積／946㎡
- 建築面積／649㎡
- 延床面積／1,497㎡
- 構造規模／S造一部SRC造 地上3階建
- 設計施工／株式会社竹中工務店
- 撮影／益永研司写真事務所

「ロードサイド」に佇む集いの場
福山市に立地する集会施設の建替計画である。宙に浮かべた杉板コンクリートの外壁。その内側は杉板で活動空間をやさしく包み込み、360度巡らせたスリット状の開口は内外のつかず離れずの関係を生み出している。吹き抜けとスキップフロアが上下階の活動を結び、スリット開口と光庭が外部の風・音・光を導くことで、ロードサイドから発せられるノイズを“気配”へと変換する。建築を媒介とすることで、ロードサイドに連なる地域全体を、個々人が送る日々の営みとして捉え直す場となることを考えた。



CPD 認定プログラム(11 ～ 12 月広島県内実施分)

2026 年 10 月 6 日現在

日 時	プログラム名	単位	主 催	連絡先
11/21	カミハチクロス現地研修会	3	広島県建築士会広島支部	082-244-6836
11/25	赤外線建物診断技能師研修	6	街と暮らし環境再生機構	044-201-7411
11/26	第一種電気工事士定期講習（広島市） 11/26	6	電気工事技術講習センター	03-3435-0897
11/26	設計図書整合性向上ガイドブック解説講習会（DVD 講習）	1	広島県建築士会	082-244-6830
11/26	総合図作成ガイドライン解説講習会（DVD 講習会）	2	広島県建築士会	082-244-6830
11/28	H0702 BIM を用いた建築生産設計技術（建築モデル作成編）	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
11/28	令和 8 年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会（7）	6	広島県建築士会	082-244-6830
11/29	H0702 BIM を用いた建築生産設計技術（建築モデル作成編）	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
12/ 5	H0802 BIM を用いた建築生産設計技術（建築モデル活用編）	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
12/ 6	H0802 BIM を用いた建築生産設計技術（建築モデル活用編）	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
12/ 8	【第 4 回】労働安全衛生特別教育（高圧・特別高圧電気）講習会（1 日目） 12/8	6	一般社団法人日本電気協会 中国支部	082-243-4237
12/ 9	【第 4 回】労働安全衛生特別教育（高圧・特別高圧電気）講習会（2 日目） 12/9	6	一般社団法人日本電気協会 中国支部	082-243-4237
12/ 9	令和 8 年度広島県木造建築セミナー（5）	5	広島県 林業課（NPO 法人サウンドウッズ）	0795-71-1065
12/ 9	大規模修繕「修繕の心得」講習会（DVD 講習）	3	広島県建築士会	082-244-6830
12/10	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
12/12	H1403 ドローンを活用した測量実践技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
12/12	令和 8 年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会（8）	6	広島県建築士会	082-244-6830
12/13	H1403 ドローンを活用した測量実践技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
12/15	令和 8 年度けんちく講演会「密集市街地における多面的観点から適した整備方針の検討」	2	広島県建築士会呉支部	0823-25-0230
12/16	既存住宅状況調査技術者講習（新規）	5	広島県建築士会	082-244-6830
12/25	2026 年 3 階建て木造建築物の設計図書等の作成方法・読み方等に関する講習会 広島会場	3	広島県建築士会	082-244-6830

令和 8 年熊本地震災害へのご協力ありがとうございました

- 広島支部：佐名田敬荘 様、加藤史隆 様、登田恵吾 様、水守寛敏 様
 - 東広島支部：実森信夫 様、実森尊信 様
 - 県北支部：倉田まゆみ 様
 - 呉支部：濱井義樹 様
- 合計 50,000 円を熊本県建築士会を通して被災者の皆様にお届け致します。

専攻建築士登録の
新規・更新申請手続きが始まります！

- 申請受付期間
2027年1月4日回～ 2027年2月28日回（予定）
- 申請方法
①新規
申請書等を当会に提出です。申請書等は日本建築士会連合会HPのトップページまたは当会HPよりダウンロードしてください。
②更新
登録証の有効期限が2027年3月31日までの方が対象です。
申請はWEB申請です。日本建築士会連合会または当会HPの令和7年度更新申請より専攻建築士管理システムへログインの上、手続きを行ってください。
※更新には2026年12月31日までにCPD 60単位以上の取得が必要です。
- 費用（税込）
①新規 17,600円 ②更新 9,900円

詳しくは、当会事務局までお問合わせください。

人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、実現してきたデザインや技術は、現代に伝統として受け継がれています。竹中工務店は、その伝統を尊びながら、常に新しい価値や試みを取り入れ、革新的なデザインや技術を創り出すことを目指しています。人と自然が共に豊かになるにはどうしたらいいのかわ。未来の環境をつくる使命を持って新しい建築を世に送りだしたい。そして、10年後、20年後、100年後、その建物が新しい「伝統」になり、未来の建築家たちの礎になることを願っています。「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」竹中工務店は、この経営理念のもと、建築の可能性を追い求めていきます。

竹中工務店（兵庫県神戸市）
設計施工 竹中工務店

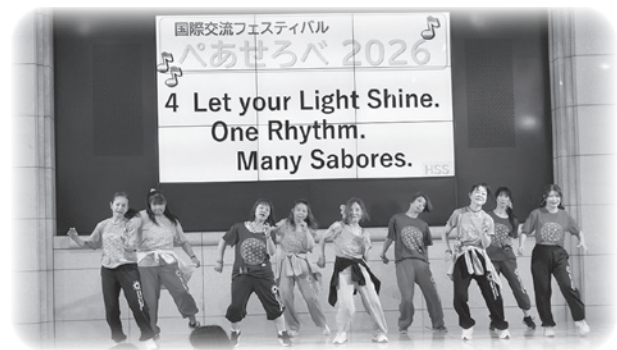
想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

株式会社 竹中工務店 本社：〒641-0053 大阪府中央区本町4-1-13 Tel.06-6262-1201 / 東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 Tel.03-6810-5000

国際交流フェスティバル「ぺあせろべ2026」を開催しました！ 若井 信

令和8年10月4日（日）、広島駅南口地下広場において、国際交流フェスティバル「ぺあせろべ2026」を開催し、本年も多くの来場者に異文化交流の機会を提供することができました。

ステージでは、広島法輪功愛好者の会による腰太鼓や法輪功五式動作の披露をはじめ、和太鼓演奏、韓国文化を紹介するステージ、様々なダンスなど、多彩なプログラムが実施されました。



韓国文化を紹介するステージでは、駐広島韓国総領事館（広島市南区）の姜鎬曾（カン・ホズン）総領事による挨拶も行われ、日韓の友好と相互理解の促進に向けたメッセージが来場者に届けられました。



ぺあせろべ2026（女性部会ブース）

女性部会部長 福馬 晶子

女性部会では、昨年度に引き続き、パラグライダーのコードで作る防災ブレスレットやスマホホルダーを手作りするワークショップを行いました。いざという時に使いたいというおばあさまから、かわいいブレスレットを作りたいお嬢さん、実際に使う気満々なミリタリーマニアまで、色んな方がやってきて作って帰られました。いざという時に役立てば、光栄です！



また、広島を代表するアーティストであり、CMソングや地域応援ソングを手掛けるなど幅広く活躍されている姉妹デュオ Mebius（メビウス）によるスペシャルライブも開催され、多くの来場者を魅了していました。



さらに、昨年度好評であったソーランちーむ翔龍による南中ソーランについては、本年度はスペシャルライブを挟んで2回実施され、力強く躍動感あふれる演舞が会場を大いに盛り上げました。



会場内には外国人ビザ無料相談会をはじめ、各国の文化紹介や民族衣装展示、飲食販売、マトリョーシカ絵付け体験、バルーンアート、折り紙体験など、多様な内容のブースが出展され、世界の文化や暮らしについて理解を深めていました。

建築士会としては、青年部及び女性部によるブースを出展し、建築士会の活動を広くPRすることができました。当日、諸事情により開会時間を30分遅らせてのスタートでしたが、出演者等の皆様のご協力により、大きな混乱もなく無事に開催することができました。今後もこのような活動を通じて、地域における国際交流の推進に貢献していきたいと考えています。

ぺあせろべ2026（青年部会ブース）

青年部会副部長 舩盛 賢吾

青年部会では、「キッズクラフトラボ」と題し、子ども向け建築模型のワークショップを実施しました。屋根の形を選んだり、外壁の素材を選んだり「正解のない、自由なデザイン」に挑戦する時間は、多くの子ども達を夢中にさせていました。



福山市民病院新本館 I 期工事完成見学会を開催しました。 社会活動委員会 大戸 聖治

8月2日（日）、「福山市民病院新本館 I 期工事見学会」を開催しました。今回の見学会は、福山市民病院経営企画部管理課建設担当の皆様のご協力のもと実施され、スタッフを含め40名が参加し、盛況のうちに終了しました。

見学した新本館は、鉄骨造（免震構造）、地上7階・地下1階建て、延べ面積28,400㎡（うち I 期15,800㎡）となっており、福山市内の市有施設として初めて免震構造が採用されたものです。

新本館 I 期では、周産期母子医療センターの新設により、ハイリスク出産への対応や重症新生児の受入れ・治療体制が強化され、周産期医療の充実が図られています。また、屋上ヘリポートの整備、救命救急センターの移転、高精度放射線治療室の新設などにより、これまで福山市民病院が担ってきた「救急医療」「がん医療」「高度専門医療」の機能がさらに強化されま



した。これにより、より高度で質の高い医療を提供できる体制が整備され、圏域の基幹病院として市民の健康と安心を支える重要な役割を果たしています。

見学会では、新本館の運用開始後には立ち入ることができないエリアも見学することができました。参加者の皆さんは説明に熱心に耳を傾け、特に屋上ヘリポートや地下の免震層では多くの質問が寄せられるなど、大変有意義な見学会となりました。

今回の見学を通じ、地域医療の重要性を改めて実感しました。私たちが暮らす福山市には市民の命を守る最後の砦として福山市民病院があり、その役割の大きさを改めて認識することができました。また、今後予定されているⅡ期工事をはじめ、さらなる医療機能充実により、地域医療の発展に一層貢献していくことを期待するとともに、一市民として大きな安心感を抱く見学会となりました。



一級建築士製図試験対策講習会について

青年委員会 大林 俊也

9月5日（土）に一級建築士製図試験対策講習会を開催しました。本講習会は、福山支部が長年力を入れてきた取り組みで、毎年の製図課題に即した講義と事例見学を組み合わせることで、受講生に実践的な学習機会を提供してきました。

昨年に引き続き、一級建築士育成コミュニティ「教育的ウラ指導」代表の荘司和樹氏を招聘し、試験の傾向と対策、心構えに至るまで、受講生が迷いやすいポイントを丁寧かつ分かりやすく解説していただきました。講義中は、受講生が真剣に耳を傾ける姿が見られ、講習会の意義が改めて感じられる時間となりました。

事例見学会では、2つのホテルのご協力を得て事例見学会を実施しました。試験でも重要視されるゾーニングや設備計画を、実際の建築物を通して確認できる貴重な機会となりました。受講生は図面では得られないスケール感や空間構成を体感しながら理解を深めていました。ホテル関係者の方にも同行いただき、建物の使い方や設備の意図など実務に基づく説明を受けながら学びを深めることができました。

講習会の最後には、福山支部の令和5年・6年・



7年の合格者による「直近合格者インタビュー」を実施しました。リアルな体験談や学習の工夫、試験当日の心情など、受講生が知りたい実体験を率直に伝える場となり、受講生からは「不安に感じていた部分が解消されて助かった」「今年絶対に合格して報告に来ます！」といった力強い声が寄せられました。私自身も昨年に続き、直近合格者として受講生へ向けて試験対策や経験をお伝えし、受講生の熱意に触れることができました。

また、今年は講習会終了後、参加可能な受講生と建築士会メンバーで懇親会を開催しました。講習会中とは異なる和やかな雰囲気の中で交流が進み、受講生同士や建築士会メンバーとの関係がより深まる有意義な時間となりました。

参加者は15名と限られた人数ではありますが、広島県内のみならず各県からの参加もあり、受講生にとって学びの密度が高い講習会となりました。福山支部では、未来の建築士を育成するため、今後も製図試験対策講習会を継続し、受講生の挑戦を支えてまいります。受講された皆さんが無事合格されることを心より祈っています。



建築士も活用がしやすくなった 3D 計測技術

1985 年当時「専門家しか扱えなかった 3D 計測」が、3D 計測のアルゴリズムの進化により、一般の建築士でも使える技術となった。「自分も試してみたい」と思うような 3D 計測手法について、3 回にわたり事例を示しながら紹介します。

その3 建築士が使いこなす 3D 計測技術

(株)コバコン 西村 正三
(株)計測リサーチコンサルタント 安井 伸顕

1. はじめに

最終回となる本稿では、(株)渋谷設計が旧小学校の解体設計において実施した 3D 計測を取り上げ、その活用方法と効果について紹介する。また、取得された点群データを改めて検証することで明らかになった課題や、点群処理によるデータ活用の可能性についても述べる。

本シリーズ第 1 回では、1985 年の精密写真測量から 2025 年の SfM まで、3D 計測技術が「建築士自身が扱える技術」へと進化してきた過程を整理した。第 2 回では、UAV・TLS・SLAM といった複数の計測手法を目的に応じて使い分ける重要性を示し、点群処理から図面化・BIM モデル生成へ至る実務的な流れを述べた。

本稿では、その総括として、建築士自身による 3D 計測が実際の設計業務にどのように役立つのか、また取得したデータをより有効に活用するために何が必要なのかを考察する。

2. 旧小学校解体設計の概要

地域の複数校の統合に伴い廃校となった旧小学校について、校舎や体育館等の解体設計が実施された。対象敷地は丘陵地に位置し、面積は約 1.6ha、グラウンドを基準 (GL±0) として、校舎は GL+6.0m、プールは GL+12.3m と、敷地内に約 12m の高低差を有している。

敷地内には、曲線を描きながら登るスロープや樹木が繁茂する法面など、複雑な地形が存在する。特に解体工事では、重機の搬入経路や仮設計画を検討する必要があり、進入路の幅員や曲線形状、敷地内の高低差などを把握することが重要となる。

こうした条件から、従来の現地測定や図面だけでは把握しにくい敷地の形状や構造物の位置関係を、3 次元的に確認できる手段として 3D 計測が活用された。



図1 BLK360の外観と機器仕様

3. 旧小学校解体設計に 3D 計測を活用

3.1 地上レーザ Leica BLK360 で計測

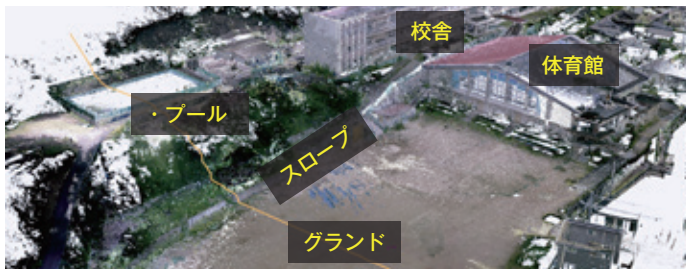
(株)渋谷設計では、地上レーザスキャナ「Leica BLK360」を所有し、これまでも設計業務に活用してきたが、今回のような広範囲の敷地を計測するのは初めてであった。

BLK360 (以下、TLS) は、重量約 0.75kg と小型軽量で操作性に優れ、三脚に設置してスマートフォンから操作することで、数分で 1 地点の計測を完了できる。今回の事例では、約 1.6ha の敷地に対して計 128 地点で計測を行い、スロープや法面、建物周辺などの点群データを取得した。これにより、敷地全体の配置や、校舎とスロープの高低差、位置関係などを 3 次元的に把握できるようになった (図 2)。

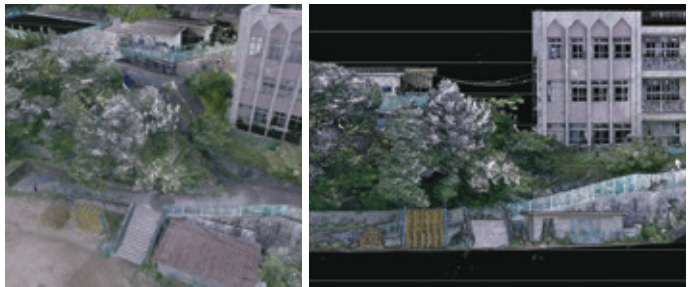
取得した点群データは、解体設計における既存状況の確認や寸法計測に活用された。従来であれば、設計の進捗に応じて現地を再訪し、必要な箇所を測定することも多かったが、点群データを取得しておくことで、後から任意の位置の寸法や断面形状を確認することが可能となる。

特に、曲線を描くスロープや高低差のある敷地では、重機の搬入経路や仮設計画を検討するうえで、進入路の形状や周辺構造物との位置関係を立体的に把握できることが有効である。

一方、点群データがそのまま設計図面となるわけではない。法面や石積み、水路などについては、点群から形状を確認するだけでなく、従来と同様に設計者が必要な情報を判断し、図面上に符号や注記等を加える必要がある。3D 計測は、設計者による図面作成を支援する有効な手段として活用された。



全体俯瞰



スロープ部俯瞰

スロープ部立面

図2 取得 3D 点群データ

3.2 点群の後処理解析

解体設計に活用された点群データについて、設計業務の完了後、改めて点群処理による検証を行った。

今回の計測対象には、樹木や草木が繁茂する法面があり、取得した点群をそのまま表示した状態では、植生が重なり、地表面の形状を把握しにくい箇所が見られた。

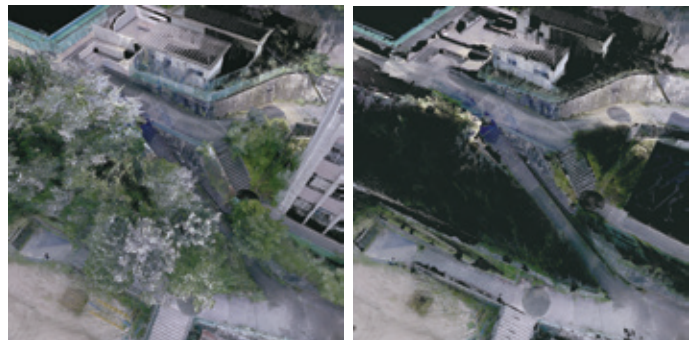
そこで、点群処理ソフト「TREND-POINT」を用いて地表面抽出フィルタリングを実施し、樹木や草木などの地表面以外の点群を分離した。その結果、植生によって見えにくかった地表面の点群が明瞭になり、スロープ周辺の地形を俯瞰的に把握しやすくなった (図 3)。横断面においても、法面の傾斜や地形の形状を確認しやすくなった (図 4)。さらに、抽出した地表面点群から任意の位置で断面形状を確認し、CAD 上で地形の輪郭をトレースすることで、図面化への活用についても検証した (図 4、図 5)。こうした処理は、複雑な地形の把握や図面化に必要な情報の抽出を支援するものと考えられる。

ただし、フィルタリングによって植生の下にある地表面が新たに計測されるわけではなく、地表面の点群が取得できていない箇所については、別途確認が必要となる。

3.3 TLS 計測のまとめ

今回の事例では、建築士自らが TLS による計測を行い、取得した点群を解体設計に活用することで、現地での再計測の負担軽減につながることが示された。

一方、広範囲の計測では、点群の位置合わせや植生による地表面の欠測などに注意が必要である。今回の事後検証では、地表面抽出フィルタリングによって地形の視認性を改善できることが確認され、適切な計測計画とデータ処理の重要性が示された。



フィルタリング前

フィルタリング後

図3 フィルタリング前後の俯瞰

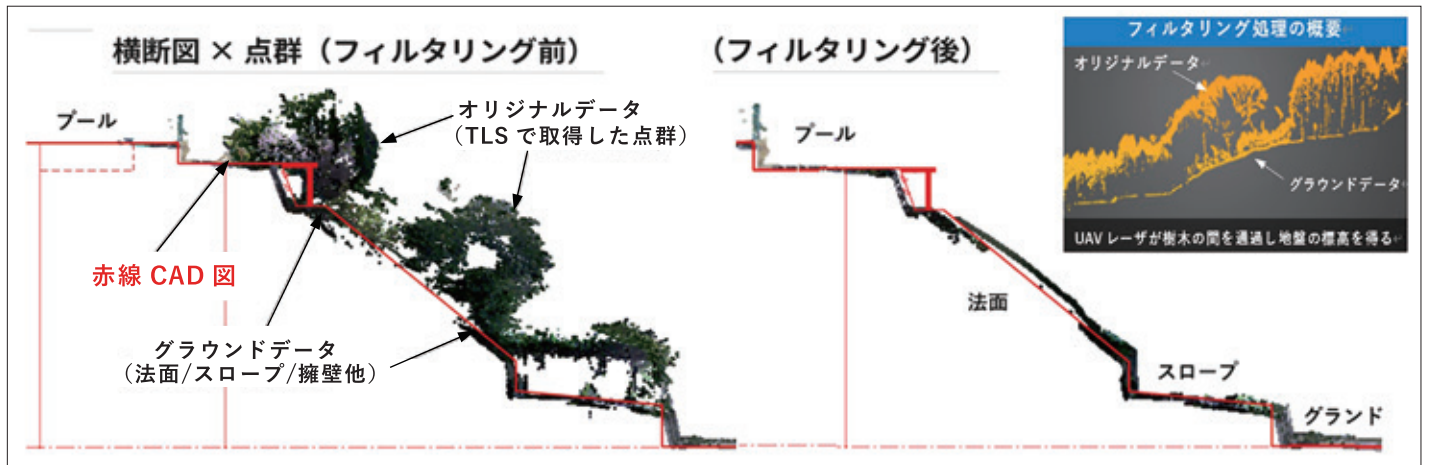


図4 点群処理ソフトの地表面抽出と横断面作成

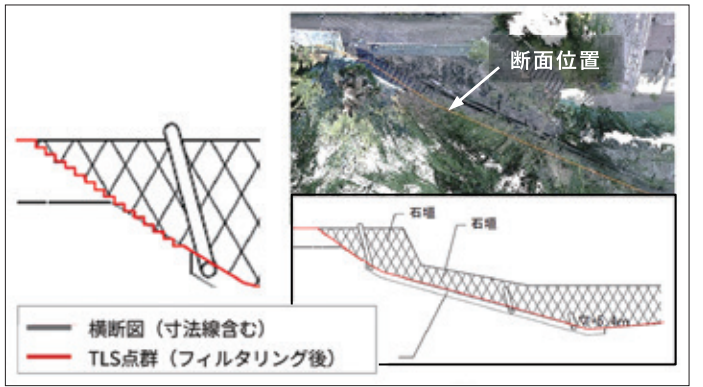


図5 点群から作成した図面の例

4. まとめ

本シリーズでは、3D 計測技術の変遷から、各種計測手法の特徴、建築設計業務への活用事例までを紹介してきた。

計測機器やソフトウェアの進歩により、建築士自身が 3D 計測を実施し、取得したデータを設計業務に活用できる環境が整いつつある。今回の事例でも、複雑な地形や構造物の位置関係を立体的に把握し、必要な寸法や断面形状を後から確認できることが、設計業務における有効な手段となった。

一方、点群データがそのまま設計図面となるわけではなく、必要な情報を読み取り、図面として整理する設計者の判断が不可欠である。また、計測対象や目的に応じた計測方法の選定、取得データの精度確認や適切な後処理も重要となる。

3D 計測は、従来の設計手法に取って代わるものではなく、設計者が現地の状況をより深く理解し、効率的に検討を進めるための技術である。今後、建築士がこうした技術を目的に応じて使いこなすことで、設計業務における活用の幅がさらに広がることを期待したい。



▲BLK360 で既存家屋の 3D 計測



▲フィルタリング処理の詳細

試験業務委員会

令和8年度建築士試験の状況と建築士法改正について

委員長 相原 直樹

令和8年度の建築士試験が実施され、広島県内では学科試験において、一級建築士592名、二級建築士349名、木造建築士4名が受験しました。一級建築士学科試験の合格者は150名（合格率25.3％）で、全国平均の26.2％とほぼ同水準となりました。二級建築士学科試験は148名（合格率41.3％）、木造建築士学科試験は2名（合格率50.0％）が合格しています。

今年度の設計製図試験課題は、一級建築士が「ホテル」、二級建築士が「商店街に建つ併用住宅（木造3階建て）」、木造建築士が「専用住宅」とされました。一級建築士試験では、宿泊者の快適性や動線計画に加え、防災性や環境への配慮など、近年の社会的要請を踏まえた総合的な建築計画能力が問われています。また、二級建築士及び木造建築士試験では、木造建築に関する実践的な設計力や構造計画能力が求められる内容となっています。

設計製図試験の合格発表は、二級建築士及び木造建築士が12月3日（木）、一級建築士が12月23日（水）に予定されており、受験者の皆様のご健闘をお祈りします。

また、本年7月には建築士の確保・育成を目的とした建築士法の改正が行われました。今回の改正により、大学等で所定の単位を修得し卒業見込みとなった学生は、一級・二級・木造建築士試験を在学中から受験できるようになります。

あわせて、実務経験要件の見直しや受験機会の拡大が図られ、若手技術者の早期資格取得を後押しする制度となっています。人口減少や担い手不足が進む中、建築士制度についても時代の変化に対応した見直しが進められており、今後の建築界を支える人材の確保・育成につながる事が期待されます。

建築業界を取り巻く環境が大きく変化する中、若手人材の育成はこれまで以上に重要となっています。会員の皆様におかれましては、受験支援や実務指導を通じて、次代を担う建築士の育成に引き続きご協力いただきますようお願いいたします。



行政情報

令和8年度 非住宅木造設計支援事業のご案内

広島県では、非住宅建築物について木造設計に挑戦される場合、設計費を補助する事業を行っています。

補助対象者	建築物の設計者
対象となる建築物	住宅以外の用途の建築物で、①②③のすべてを満たす木造建築物 ①木材使用量に占める県産材または県産木材の使用割合が50％を超えること ②延床面積が200㎡を超えること ③令和8年度内に設計業務が完了すること ※広島県外に建設される建築物も対象となります。
補助対象経費	基本設計及び実施設計費（諸経費含む） ※一部対象外の経費があります。
補助率	○木材使用量に占める県産材割合が50％を超える場合 設計費の1/2以内 ○木材使用量に占める県産木材割合が50％を超える場合 設計費の1/3以内 ※どちらも補助限度額は200万円

〈県産材とは〉広島県内で伐採された丸太を製材加工した木材で、製材加工地は問いません。
〈県産木材とは〉広島県内で製材加工された木材で、丸太の産地は問いません（県産材含む）。

【広島県 HP】 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/86/r8mokuzousekkeishien.html>
【お問合せ・相談先】 広島県林業課県産材利用促進グループ 電話：082-513-3688



詳しくはこちら！

建築確認・検査

構造計算適合性判定

「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します

■ 指定確認検査機関
■ 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
■ 住宅瑕疵担保責任保険業務

■ 指定構造計算適合性判定機関
■ 適合証明業務（フラット35）
■ 調査診断業務（違法性調査、定期報告等）

■ 登録住宅性能評価機関
■ 長期使用構造等の確認業務
■ 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価業務

12条点検は弊社におまかせください

株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <https://www.jesupport.jp/> e-mail : mail@jesupport.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL：082-836-3300 FAX：082-228-8201
東京支店：東京都千代田区神田富山町22-7F
福岡支店：福岡県福岡市中央区天神四丁目3-30-7F

指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第1号） 登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第5号） 登録省エネ判定機関（中国地方整備局長登録第3号）
BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぽりカバーしています

Energia
中国電力グループ

HOUSE PLUS
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<https://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル
TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608

建物に関わる全ての人に感動を

株式会社 ティーエス◇ハマモト

安全で安心な住まいづくりをサポートします。

◆ 建築確認・検査
◆ 住宅性能評価
◆ フラット35 適合証明
◆ 長期優良住宅技術審査
◆ 低炭素建築物技術審査

◆ 住宅かし担保責任保険
◆ 省エネ関連業務
◆ リフォーム評価ナビ
◆ ベターリビングリフォーム審査業務

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

URL:<http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

9